

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016.06.20

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	藤原克美
専門分野 Academic Field	ロシア・ソビエト経済論

平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ソビエト「消費社会」の研究				
<p>研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>まず、以前から準備を進めている論文「ソビエト・ジーンズ」を脱稿する。</p> <p>次に、上記の科学研究費プロジェクト「不足のなかの「消費社会」」で予定しているように、衣類と家電を中心に、消費社会の広がり・階層化の研究を進める。秋には、衣料・家電の獲得方法、百貨店の役割、消費の意味(ショッピングは快樂をもたらしたのか等)に関するアンケート調査を実施する。また、文書館で資料収集を行う。</p> <p>岡洋樹先生(東北大学)代表の科学研究費プロジェクト(B)「東北アジア辺境地域多民族共生コミュニティ形成の論理:中露・蒙中辺境に着目して」では、満洲国下のロシア企業における民族間の関係を考察する。具体的には「チューリン百貨店」の経営について、支店長会議議事録等を中心に検討する予定である。</p> <p>2016 年 6 月に比較経済体制学会で報告した「グローバル下のロシア企業戦略:アパレルを事例として」についてはさらにブラッシュアップを図り、論文にまとめる。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ソビエト経 済史	経済政策 (ロシア)			
キーワード Keywords*2	ソビエト	ロシア	消費社会	ファッション	ロシア企業